

# 抗議声明

平和でこそいのちかがやく！

「戦争法案」の委員会採決強行に  
断固抗議します。

安倍政権は、7月15日、衆院特別委員会で、海外で戦争する戦争法案の採決を強行しました。この法案は、自衛隊員が海外で戦争する国になるだけでなく、労働者を含めた国民全体が戦争への協力を迫られるものです。違憲性が明らかになり、国民の多くが今国会での成立に反対している中で、数の力で採決を強行するなど、絶対に許す事は出来ません。

私たち医労連は、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護師として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」を合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来 60 年間、一貫して産別の重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。私たちの労働は、いのちをまもりいのちに寄り添うことであって、戦争への協力とは絶対にあいいれません。採決強行に断固抗議するとともに、戦争立法阻止の為に最後まで奮闘する決意を表明します。

2015年7月15日

富山県医療労働組合連合会  
執行委員長 大浦義憲